

Symmetra™ PX 250/500kW用 リチウムイオンバッテリー

コンパクトで軽量な三相UPS(無停電電源装置)用バッテリー



シュナイダーエレクトリックの大型三相UPS用LIB(リチウムイオンバッテリー)は、データセンターや産業用途向けに開発された高付加価値の新しい電力貯蔵システムです。従来の鉛蓄電池と比べて、バッテリー盤の設置スペースや重量を大幅に削減し長寿命であるため、総所有コスト(TCO)を削減します。またモジュール型のため運用開始後でも負荷の増加に伴う三相UPS: Symmetra PX 250/500kWの容量増設に併せて、リチウムイオンバッテリーを増設することができます。バッテリーマネジメントシステム(BMS)を標準搭載しており、バッテリーの運用状態を管理できるため安全性の高いバッテリーシステムです。

システムコンポーネント



A スイッチギア

・ MCCB、BMS



B スイッチモード電源 (SMPS)

・ 24V冗長化電源内蔵(BMS給電用) ・ Rack BMSおよびUPSとの通信



C モジュール内に内蔵

C モジュール

・ 直列接続された8セルを内蔵
・ BMSとの連携



D セル

・ 高信頼性リチウムイオン電池
・ 定格67Ah、公称電圧3.8V

バッテリーマネジメントシステム(BMS)

当社のリチウムイオンバッテリーには、BMSが標準搭載されております。バッテリーの状態および、セル・モジュール・キャビネット単位での管理も可能です。また、バッテリーの残存容量や状態を確認することもできます。

<http://catalog.clubapc.jp/>

Life Is On

Schneider
Electric

リチウムイオンバッテリーを導入するメリット

鉛蓄電池との比較

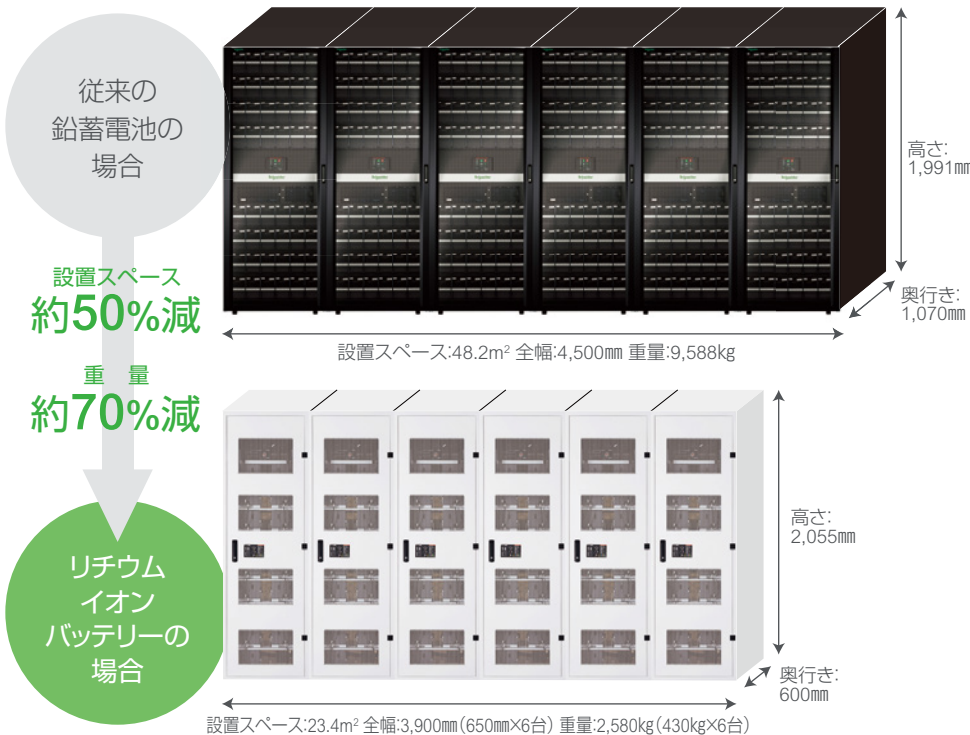


※海外での開発テストおよび導入事例における実績数値です。それぞれの数値は使用環境や運転環境により異なる場合があります。



設置スペース／重量による比較

当社製品Symmetra PX 500kWでバックアップ時間10分の場合



!

従来の鉛蓄電池に比べ、バッテリー盤の設置スペースと重量を大幅に削減します。これにより下記のような導入効果を得ることができTCOの削減につながります。

- 設備の占有面積の縮小による設置場所コストの削減
- バッテリースペースを縮小することにより、空調設備や電気代を削減
- 電気室を省スペース化することによりIT利用スペースが増加し、データセンター内の販売エリアの拡張が可能
- 軽量化による建物のフロア耐荷重の緩和

※ 上記寸法 重量は概算です。仕様など詳細は弊社までお問い合わせください。
 ※ リチウムイオンバッテリーに使用される電解液は消防法の第四類第二石油類に該当します。このため指定数量(電解液で1,000ℓ)以上を貯蔵する場合は危険物の一般取り扱い所に該当するため、一般取り扱い所の技術基準に適合する必要があります。なお、一定の安全対策を講じることで特例基準を満たす場合は、指定数量に対する緩和措置があります。詳細は弊社までお問い合わせください。

Symmetra PX 250/500kW用リチウムイオンバッテリー 10 モジュール / ラック - ランタイム表(分)

製品名	定格容量	2ラック	4ラック	6ラック	8ラック
Symmetra PX 250/500kW (PF=1)	250kW	4.0	18.0	27.5	37.0
	500kW	N/A	4.0	13.0	18.0

※ランタイムは公称値であり、+/-5%の許容誤差が生じることがあります。詳細は弊社までお問合せください。

シュナイダーエレクトリック株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦2-15-6 オアーゼ芝浦MJビル
 TEL:03-5931-7500 FAX:03-3455-2030 WEBサポート:http://www.apc.co.jp/support_contact/

- ・UPSの海外使用について
本カタログ記載のUPSは日本国外においても使用可能です。詳細は弊社までお問い合わせください。
- ・価格は為替の変動などにより予告なしに変更する場合があります。・予告なしに一部意匠および仕様を変更する場合があります。・記載された社名、製品名は各社の商標または登録商標です。